

ROSA® Knee (ロザ・ニー) システム

大分岡病院では、2022年12月より人工膝関節置換術にて、執刀医のサポートを行う手術支援ロボット「ROSA® Knee(ロザ・ニー)システム」を大分県で初導入しました。

ロザ・ニー システムは、六軸多関節ロボットアームと光学カメラユニットに分かれており、患者さんの膝の位置を正確に把握し、人工膝関節を置換するための骨切り量を0.5 mm単位、角度を0.5°単位で設定が可能です。手術前の計画だけでなく、手術中にリアルタイムでの計画変更もできるため、患者さん一人ひとりに対して柔軟に対応ができるようになりました。

今まで骨を削る量や角度は医師の経験や技術、感覚に頼る部分がありましたが、この手術支援ロボットの導入により、従来よりも低侵襲で合併症の少ない安心・安全な手術が行えます。

3つのメリット

✓ より正確に、より安定した手術を実現

詳細な解析データにより、精度の高い個別化治療（オーダーメイド治療）が可能となり、従来と比べ正確でより適切なインプラント設置が可能です。

✓ 術後のQOLが向上

体にかかる負担も少なく術後の満足度も向上し人工膝関節の長期耐用性も期待されます。

✓ 保険適用で安心



適用症状 変形性膝関節症による膝の痛み

【診療日】 毎週火曜日(午前)、毎週木曜日(午前)

【担当医師】 亀井 誠治 **【資格】** ・日本整形外科学会認定 整形外科専門医
・日本人工関節学会認定 認定医

